

# 所有者向けアンケート

市民・地域へのアンケート調査に加え、所有者への調査を行いました。市民・地域調査と同様、現状を把握し、「文化財保存活用地域計画」の策定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施したものです。

## ◇調査の方法

- ①調査対象地域 伊賀市全域
- ②調査対象者 指定文化財所有者
- ③調査期間 令和4年1月11日～1月25日
- ④調査方法 調査票による所有者記入方式

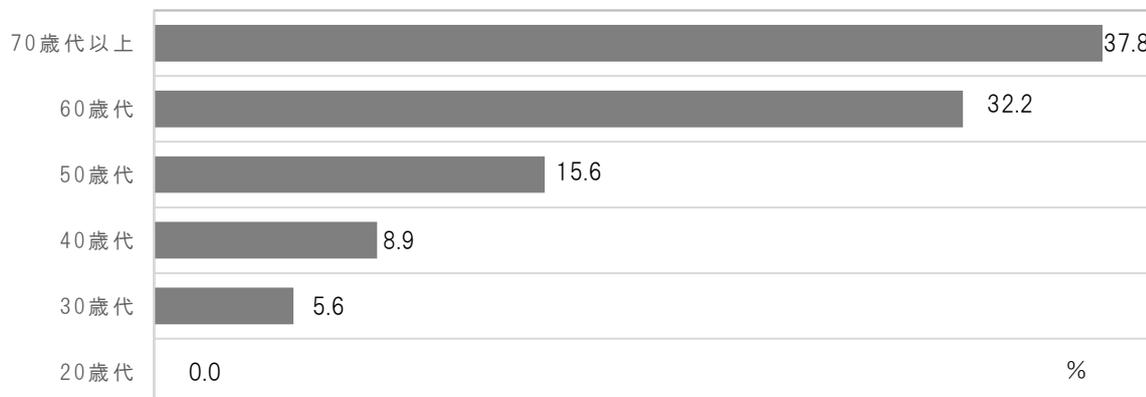
## ◇配布・回収数

指定文化財所有者へ200通送付、93通の回答がありました。(回答率：46.5%)

## 回答される方におたずねします

問1. あなたの年代をお聞かせください。【N=90】(Nは回答者数)

「回答者の年代については、「70歳代以上」が37.8%と最も高く、次いで「60歳代」が32.2%、「50歳代」が15.6%と続いています。



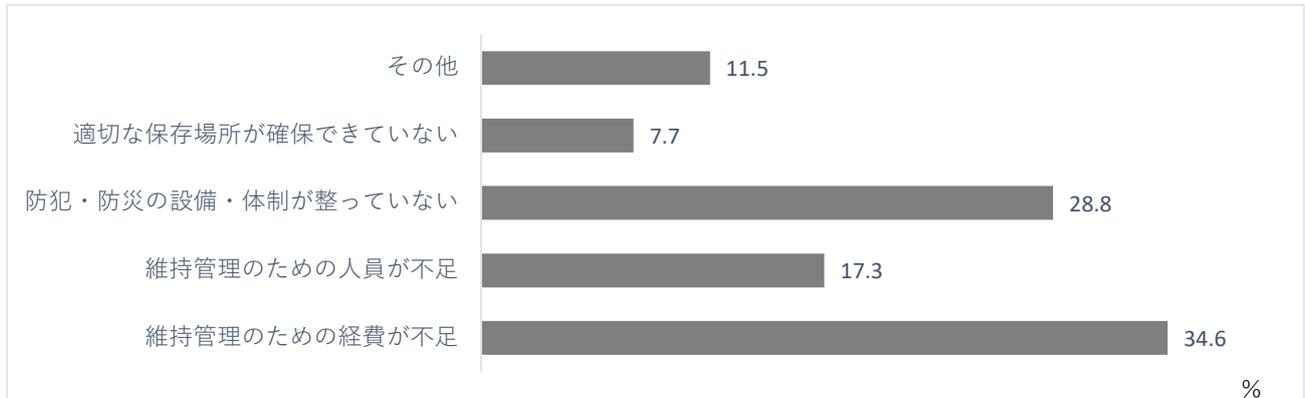
## 文化財の保存についておたずねします

問3. 文化財の保存の現状についておたずねします。【N=88】

「適切に管理出来ている（毀損・汚損のおそれがない場所にある、防犯・防災体制が出来ているなど）」が70.5%、「適切に管理できていない」が29.5%、「一部管理できていない」が「適切に管理出来ている」中で8%ありました。

問 4. 適切に管理できない理由・課題をお教えてください。【N=36】

「維持管理のための経費が不足」が34.6%と最も高く、次いで「防犯・防災の設備・体制が整っていない」が28.8%、「維持管理のための人員が不足」が17.3%と続いています。



## 文化財の活用についておたずねします

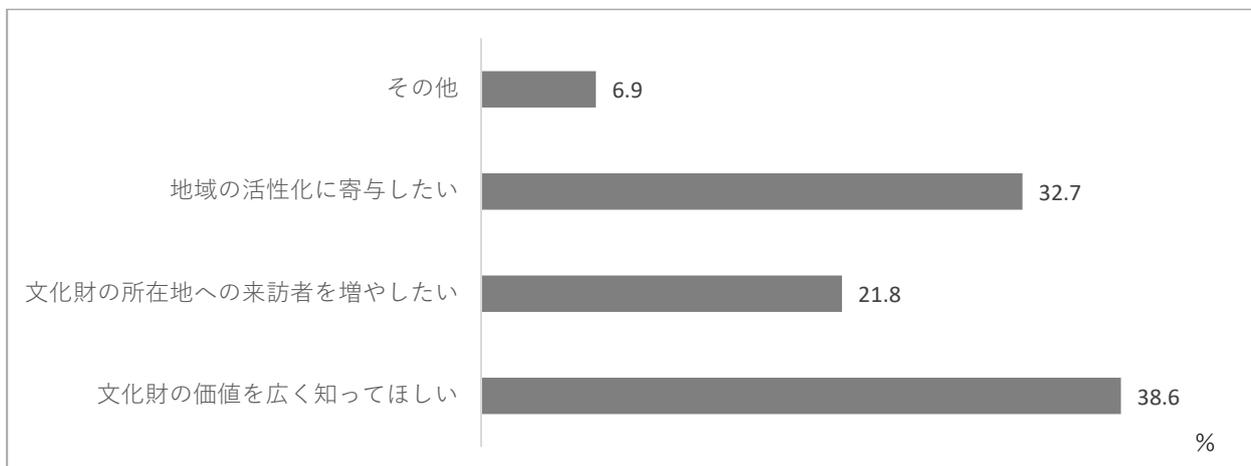
問 7. 文化財の活用についてのお考えをおたずねします。(所有されている文化財を市民に公開する機会を設けるなど) 【N=89】

「活用したいと考えている」が65.2%、「活用できないと考えている」が34.8%となっています。

問 8. 活用したいと考える理由をお教えてください。【N=60】

活用したいと考える理由については、「文化財の価値を広く知ってほしい」が38.6%と最も高く、次いで「地域の活性化に寄与したい」が32.7%、「文化財の所在地への来訪者を増やしたい」が21.8%と続いています。

その他「文化財の価値のみでなく、文化財を伝えて来た歴史の価値」や「地域のもつ歴史的価値」についても、関心をもってもらいたいなどの意見がありました。



問9. 活用できないと考える理由をお教えてください。【N=47】

活用できないと考える理由については、「来訪者が増えても対応できない」が42.3%と最も高く、次いで「活用する人員・経費がない」が22.5%、「文化財の所在が広く知られることで、盗難などのおそれが高まる」が18.3%と続いています。

その他、「普段は無住のため対応が難しい」、「公開による劣化が心配」、「見てもらうためには、整備が必要」など、文化財の活用を進めるためには、人員・経費の確保が課題となっていることがうかがえます。

